

電気学会誌寄稿の手引き

1. まえがき

電気学会誌は、電気学会の全ての会員に毎月直接お届けする重要な情報媒体であり、学会と会員の最も広い接点であります。

この学会誌が多数の会員に読まれるかどうかは、執筆していただく原稿が興味深く、読みやすいかどうかにかかっておりますので、以下の点に注意下さるようお願いいたします。

2. 執筆の注意

電気学会誌は、専門家を対象としたシンポジウムや講演ではなく、5部門全部の会員が対象ですので、高度な内容もやさしく、分かりやすく表現して下さい。例えば、新聞の科学欄などが一つのモデルです。なお、原稿執筆にあたっては、ぜひ下記の点にご配慮をお願いいたします。

- (1)他分野、他部門の人に分からない専門用語などは控えて下さい。どうしても必要なときは、分かりやすい説明をつけて下さい。
- (2)内容が掲載記事だけで完結する（引用文献を読まなくても理解できる）ようにおまとめ下さい。
- (3)単なる式の羅列はなるべく避け、原理（できれば歴史的背景）を分かりやすく、しっかりと記述して下さい。
- (4)印刷の関係上、図写真などの印刷は原則、白黒となりますので、極力、分かりやすい構成にして下さい。
- (5)読みやすく記述されているかなどについて、編修委員会で閱讀します。また、難解な部分や見出しは手直し（リライト）させていただく場合もありますので、校正のときご点検・ご検討下さい。

3. 著作権について

電気学会では、著作権を電気学会に譲渡していただくことによって、著作者自身を著作権にかかわる事項から解放するとともに、著作物の周知性を支援するなどの著作者の便益の拡大、さらに電気学会が独立した団体として企業やその他の団体または個人と著作権にかかわる交渉ができるようにしております。そのために、電気学会誌に掲載される記事については、原則として著作権（日本国著作権法第21条から第28条までに規定されたすべての権利）を電気学会に譲渡していただくこととなります。

なお、他の著作物からの転載・引用、著作権譲渡後の著者の権利などに関しては、付録「著作権に関する注意」をお読み下さい。

4. 原稿の書き方（見本を参照して下さい）

- (1)レイアウトは1ページあたり26字×45行×2段(2,340字)となります。ただし、1ページ目は標題分として26字×8行×2段のカットスペースを空けて下さい。分量には、著者紹介(26字×5行×1段)、図、表などのスペースを含みますので、見本、学会誌等を参照して行数を換算して下さい。

(2)原稿 1 ページ目のカットスペースには、標題、著者名、キーワードをご記入下さい。著者の連名は、原則として 2 名までとして下さい。なお、代表著者連絡先（勤務先：課、室、電話番号、メールアドレスまで詳しく）、英文目次用の英文標題と著者全員の英文姓名（フルネーム）を別紙（書式不問）に記載し、添付して下さい。

(3)キーワードは日本語で 5 つ以内となります。1 語ずつカンマで区切り、カットスペースにご記入下さい。

(4)本文の記述は、内容の重要度に従い下記のパラグラフおよび細別符号の順序に整理し、章の見出しのみ 2 行分をとって下さい。

章 : 1. ○○○○○○

節 : 1. 1 ○○○○○

項 : 1. 1. 1 ○○○

細別記号 : (1) ○○○○

(2) ○○○○

(a) ○○○○

(b) ○○○○

(i) ○○○○○

(ii) ○○○○○

(5)本文は、常体かつ口語体で簡潔、明解な文章を用い、当用漢字、新仮名使いに従って下さい。

(6)学術用語は、原則として文部省制定の学術用語集に従って下さい。単位、シンボルは JIS および JEC によって記述して下さい。

(7)文献は、本文中の該当箇所に引用番号を付けて下さい。なお、一般に入手しにくい委員会報告や社内報告などは、文献として挙げないで下さい。

(8)文献の記載方法は、下記によって下さい。

a) 単行本の場合（発行年は西暦）

著者名：書名、（必要があればページ数）、出版社名（発行年）

例) 佐藤 一：電気工学，電気学会（1999）

Y. Sankar: Management of Technological Change, p.10, John Wiley, New York (1991)

b) 雑誌の場合（発行年は西暦）

著者名：記事のタイトル（日本語は「」、英語は“ ”で括る）、雑誌名、巻数、号数、ページ数（発行年月）

例) 電気太郎・花井桃子・岬 五郎：「電力系統解析技術の将来」，電学論 B, 130, 1, pp.130-136 (1999-1)

T. Denki, M. Hanai, and G. Misaki:“Future Technology for Power System Analysis”, IEEJ Trans. PE, Vol.130, No.1, pp.130-136 (1999-1)

(9)脚注箇所の右肩には、*印あるいは+印の記号を付し、同一原稿用紙内下段に同一記号を再記して脚注を記述して下さい。

(10)式および図面（写真を含む）ならびに表の番号は、章ごとの通し番号ではなく全体の通し番号にして下さい。

(11)図面は、原則として電子データをお送りください（電子データがない場合は、本会にてトレ

ースしますので、お申し出ください。

(12)図表にタイトルとは別に説明文をつける場合は、その説明文は 1 図あるいは 1 表について 140 字以内として下さい。なお、説明文は本文中の記事との重複は避けるようにして下さい。

(13)著者紹介は、文末に 90 字以内にまとめて記載し、顔写真（電子データ可）を同封して下さい。

(14)作成した原稿は、CD-R/RW や MO ディスクなどにデータを保存の上、お送り下さい。

付 録

著作権に関する注意

電気学会誌などに掲載される記事の著作権（日本国著作権法第 21 条から第 28 条までに規定されたすべての権利）は、原則として電気学会に譲渡していただきますので、下記の事項を了解のもとに寄稿して下さい。

なお、特別な事情で著作権の譲渡ができない場合は、事前に協議いたしますので、申し出て下さい。

1. 著作権の譲渡は、別に定める譲渡書の提出をもって成立するものとします。なお、当該著作物が学会誌に掲載されなかった場合は、その時点で著作権譲渡書は無効とします。
2. 他の著作物から図、表、写真および文章などを転載する場合、あるいは適法の範囲を超えるおそれのある引用については、著者の責任において著作権者の許諾を得て下さい。なお、他の著作物の一部を転載・引用する場合は、転載・引用した場所の近くにその出典（著作物名、著者名など）を明示して下さい。
3. 著作権の譲渡を行っても以下の権利は著者の手元に残るものとします。
 - (イ) 著作権以外の例えば特許権のような権利。
 - (ロ) 著者が自分の業績をまとめる際にその一部分として使用すること。
 - (ハ) 著者が営利を目的とせずに行う複製（例えば教育資料としての使用）。
 - (ニ) その他、日本の著作権法に反しない利用。

本会は上述のように、著作権を譲渡いただくことにより、実質的に著作者の権利を損なわずに記事、論文等の周知性を向上させる努力を行っています。

(改廃等)

1. 平成 3 年 7 月 2 日，編修会議において承認制定。
2. 平成 8 年 3 月 25 日，編修会議において改正。
3. 平成 10 年 4 月 14 日，編修会議において改正。
4. 平成 12 年 4 月 12 日，編修会議において改正。
5. 平成 12 年 4 月 12 日より施行。
6. 平成 15 年 12 月 4 日，編修会議において改正，同日より施行。
7. 平成 19 年 6 月 22 日，編修会議において改正，同日より施行。
8. 平成 22 年 1 月 18 日，編修会議において改正，同日より施行。

著作権譲渡書
一般社団法人 電気学会
著作権譲渡書

(本譲渡書を原稿提出時にご提出して下さい)

題 目： _____

著者氏名： (全員) _____

所属機関： (全部) _____

掲載予定誌：電気学会誌

著者全員は「電気学会誌寄稿の手引き」の著作権に関する記述を理解し、以下の諸項に同意する。

- (1)著作権（日本国著作権法第 21 条から第 28 条までに規定されたすべての権利）の電気学会への譲渡。
- (2)他の著作物の著作権を侵害していないこと。著作権許諾が必要な引用については無償での転載許諾を書面で得ていること。
- (3)内容に本質的な貢献を行った人は全て著者に含まれていること。
- (4)必要な場合には著者の所属機関のしかるべき権限を有する人の同意を得ていること。

なお、本書によって著作権の譲渡を行っても、以下の権利は著者の手元に残るものとする。

- *著作権以外の例えば特許権のような権利
- *著者が自分の業績をまとめる際にその一部分として使用すること
- *著者が営利を目的とせずに行う複製（例えば教育資料としての使用）
- *その他、日本の著作権法に反しない利用

著者名： _____ 署名： _____

(著者が複数の場合には代表者)

日付： _____

(以下は著者の所属機関で、著作権譲渡に責任者の承認が必要な場合に使用して下さい)

責任者名： _____ 署名： _____

(署名した著者の所属機関の責任者名)

役職： _____ 日付： _____